

令和3年度檜山管内農業農村整備情報連絡会議を開催

令和3年11月26日（金）に檜山振興局において令和3年度檜山管内農業農村整備情報連絡会議を開催しました。

この会議は 檜山管内の農業関係者を対象に地域の将来構想づくりを支援するため、農業農村整備の推進に係る情報提供や地域が保有している情報の共有、意見交換、地域の中長期計画の見直しを検討する場として毎年開催しています。

本会議には、檜山管内の各町、各土地改良区、各農協の他、北海道開発局函館開発建設部、檜山振興局農務課、檜山農業改良普及センターから、会場と併せて新型コロナウイルス感染症対策のため各職場からオンラインによる参加者も含めて合計39名が出席しました。

午前の部では、産業振興部長による開会の挨拶後、農村振興課長から農業農村整備事業を巡る情勢について説明があり、檜山農業改良普及センターからは「水稲高密度播種中苗栽培のすすめ」と題して大区画ほ場にも対応可能な水稲の省力化栽培技術の事例紹介、農務課からは本年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」の概要について、函館開発建設部からは記録的な少雨となった本年の「畑地かんがいの実施状況」などの情報提供が行われました。

また、近年の気候変動による自然災害への対応では、国土交通省が提案する従来の河川治水行政と併せて流域内のあらゆる関係者が連携する「流域治水」の取り組みについても現状報告と今後の取り組みについても説明がありました。

午後からは、振興局の各担当者より道営及び団体営事業に係る留意点と情報提供の他、災害事象発生時の各機関の対応等について確認する「檜山振興局農業基盤関係災害対策連絡会議」を開催し、関係者全員に改めて日頃から災害へ準備する事の重要性を周知しました。

檜山振興局は、今後も積極的に情報収集・情報提供・各取組事例紹介などの支援を各関係機関と連携して進めます。



会場での参加状況



コロナ対策のためオンラインも併用